

説得力のある内部監査の 年次計画をグランドデザインする

「経営を支える内部監査の8つの重点課題とその対応策」〔第3回開催分（全8回開催）〕

- 日時 ● 2015年2月17日（火）14:00～17:00
- 会場 ● 東京・飯田橋 『日本出版クラブ会館』
- 講師 ● 藤井 範彰氏 公認会計士・公認内部監査人

大手監査法人で20年近く会計監査を経験し、10数年にわたり内部監査、内部統制、不正調査、リスク管理等のアドバイザー業務を専門に行い、2012年、新日本有限責任監査法人シニア・パートナーを退任。現在、ABボルボ コーポレートオーディット日本担当ディレクター/UDトラックス株式会社監査役として内部監査の統括及び監査実務に従事。一方で内部監査関連の執筆、講演活動にも従事。最近の著書に「内部監査の課題解決法 20」税務経理協会。米国公認会計士（現在 inactive）。

●プログラム●

●講演／説得力のある内部監査の年次計画をグランドデザインする

経営を支える内部監査を具体化する一つの方向は、経営層のニーズに整合した年次計画を提示して経営層を納得させ、その計画を約束どおりに実施した結果を経営層に見える形で報告して評価を受け、更に次年度の計画につなげるというPDCAサイクルを明確にすることです。そのためには、経営ニーズに合った戦略的な内部監査計画を策定し、計画の根拠となるリスク評価と監査計画との関連付け、年度計画の個別監査への展開手法、更には内部監査の活動実績の報告などについて経営層に説得力のあるロジックの説明と内容のある資料を提示をすることが重要となります。

今回はこれら一連の流れを想定して、内部監査の戦略計画の策定プロセス並びにリスク評価から監査計画までのプロセスとそこで必要となるインフラについて解説します。また監査計画の展開手法として経営監査、業務監査等の監査の種類分けの考え方と年次計画において個別監査に展開するためのグランドデザインの方法を紹介いたします。

1. 内部監査の戦略計画の策定プロセスと検討事項—何を検討しておくべきか

—IPPF-PG「内部監査戦略計画の策定」の指針やガバナンス文書を活用した戦略計画のプロセスの検討

2. 年次リスク評価の手順とそのために整備すべきインフラ

—リスクベース監査の前提となるリスク評価の考え方と必要な手法、書式、留意点等の解説

3. 年次監査計画の策定とそのために整備すべきインフラ

—リスク評価結果に関連づける監査アプローチの考案と関連付けおよび監査作業全体の確認

4. 監査のパターン（経営監査、業務監査等）と年次計画のグランドデザインの方法

—監査対応パターンの設計と組織単位への適用

●講演をベースとした（グループ）ディスカッション&総括コメント <16:00—17:00>

～参加各社の対応事例や現状の問題意識をシェアする中から課題解決のノウハウ、ヒントを探り実践に繋げていただきます～

●参加要領●

●受講料：1名（資料代含む）

正会員	28,080円	一般	31,320円
-----	---------	----	---------

〔本体価格 26,000円 本体価格 29,000円〕

* 会員企業一覧は以下の当会のホームページにて、ご確認ください。http://www.bri.or.jp

申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あて FAX または E-mailにてお送りください。

折り返し、受講票・会場略図・請求書をお送り致します。

※お申込後のキャンセルは原則としてお受けしかねますので、お申込者のご出席頂けない際は、代理の方のご出席をお願い申し上げます。

●申込先（社） 企業研究会

担当) 居代 E-mail: ishиро@bri.or.jp

〒102-0083 千代田区麴町 5-7-2

TEL 03-5215-3516 / FAX 03-5215-0951 ~ 2

140188	2015 2/17 経営を支える内部監査の8つの重点課題と～		
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			

※裏面もご参照ください